

# 平成20年度報告書

いしかわ森林環境基金事業の成果の検証と評価

平成20年12月10日

いしかわ森林環境基金評価委員会

## いしかわ森林環境基金評価委員会意見

### 1 意見

別表に掲げる検証と評価を踏まえ、平成19年度のいしかわ森林環境基金事業の取組内容については、いずれも適当と認める。

### 2 付帯意見

なお、今後、いしかわ森林環境基金事業の執行等に関し、以下の点について、適切に対応されるように申し添える。

- (1) 本基金が、森林の公益的機能を維持発揮させるために設置された趣旨を理解して各事業の実施に努められたい。
- (2) 基金設置の趣旨に沿って、引き続き県民の理解を得るべく普及啓発に努められたい。
- (3) いしかわ森林環境税による強度間伐を実施した後の森林において、森林所有者が、税財源を用いることなく自己負担や造林補助事業によって枝打ちを実施することについては、本委員会だけでなく事務局において、その対応を検討されたい。

項目	主な取組と実績	検証と評価																																										
<p>1 いしかわ森林環境基金（ハード）事業            (1) 手入れ不足人工林の解消による            公益的機能の確保</p>	<p>○ 環境林整備計画 単位 h a</p> <table border="1" data-bbox="786 395 1442 480"> <tr> <td>年度</td> <td>19</td> <td>20</td> <td>21</td> <td>22</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>計画</td> <td>1,300</td> <td>2,000</td> <td>2,000</td> <td>2,000</td> <td>2,700</td> </tr> </table> <p>○ 協定の締結状況等 単位 h a</p> <table border="1" data-bbox="786 560 1424 687"> <tr> <td></td> <td>H 1 9</td> <td>H 2 0</td> </tr> <tr> <td>計画</td> <td>1,300</td> <td>2,398</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>1,622</td> <td></td> </tr> </table> <p>○ 整備状況 単位 h a</p> <table border="1" data-bbox="786 767 1424 895"> <tr> <td></td> <td>H 1 9</td> <td>H 2 0</td> </tr> <tr> <td>計画</td> <td>1,300</td> <td>2,000</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>1,300</td> <td></td> </tr> </table> <p>○ H 1 9 地区別実績 単位 h a</p> <table border="1" data-bbox="786 975 1442 1059"> <tr> <td></td> <td>南加賀</td> <td>石川</td> <td>県央</td> <td>中能登</td> <td>奥能登</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>110</td> <td>173</td> <td>154</td> <td>281</td> <td>582</td> </tr> </table> <p>○ 環境林モニタリング調査の実施            ・ 環境林整備事業を実施した林分の公益的機能の回復状況を継続して調査。</p>	年度	19	20	21	22	23	計画	1,300	2,000	2,000	2,000	2,700		H 1 9	H 2 0	計画	1,300	2,398	実績	1,622			H 1 9	H 2 0	計画	1,300	2,000	実績	1,300			南加賀	石川	県央	中能登	奥能登	実績	110	173	154	281	582	<p>初年度の取組としては概ね順調であったと評価できる。            引き続き、手入れ不足人工林の解消による公益的機能の確保に向けて尽力されたい。</p>
年度	19	20	21	22	23																																							
計画	1,300	2,000	2,000	2,000	2,700																																							
	H 1 9	H 2 0																																										
計画	1,300	2,398																																										
実績	1,622																																											
	H 1 9	H 2 0																																										
計画	1,300	2,000																																										
実績	1,300																																											
	南加賀	石川	県央	中能登	奥能登																																							
実績	110	173	154	281	582																																							

項目	主な取組と実績	検証と評価
(2) 森林所有者の理解と協力	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「協定期間を20年とすることや皆伐・転用等の制約はあるが、自己負担無しで整備してもらえるので整備を受け入れた」「針広混交林化のためには、40%以上の間伐もやむを得ない」との声が多く、事業の趣旨・仕組みに対する森林所有者等の理解が増進した。</li> <li>○ 反面、「手入れ不足の状態であったとはいえ山の管理を放棄したわけではない」「自己負担による枝打ちや間伐は自由にさせてほしい」との声があった。</li> </ul>	<p>事業の趣旨・仕組みに対する森林所有者の理解を得る努力がなされていることは評価できる。</p> <p>引き続き、森林所有者のいしかわ森林環境税による森林整備に対する理解増進に努められたい。</p>

項目	主な取組と実績	検証と評価
(3) 労働力の安定的な確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 森林組合等からは「切捨て間伐であることから、冬期や年度の端境期での仕事になる」との声があり、年間を通じた事業量の確保により森林組合、林業事業体の通年雇用が促進された。</li> <li>○ 建設業等のいしかわ森林環境基金（ハード）事業への参入 5つの森林組合管内において、延べ7社が受託等により切捨て間伐や施業地の測量等の事業に参画を得た。</li> </ul>	<p>年間を通じた事業量の確保により森林組合・林業事業体の通年雇用が促進され、また新たな建設業の参入が見られることは、中山間地域の活性化の一助ともなることから、労働力の安定的な確保に努められたい。</p>

項目	主な取組と実績	検証と評価
<p>2 いしかわ森林環境基金（ソフト）事業            (1) 森づくりに対する理解の増進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ いしかわ森林環境税の認知度に関するアンケート調査結果               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ いしかわ森林環境税を徴収されていることを知らない者が43%を占めた。</li> </ul> </li> <li>○ 森林の役割等についての普及啓発や情報提供               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新聞広告を2回（H19）</li> <li>・ 出前講座を50回開催</li> <li>・ 2種類のDVDの作成 小中高等学校に対し440枚を配布</li> <li>・ 森林環境実感ツアーを7回開催（H19）し、129人の参加を得たが、「税の徴収に対する不満はあるが、森林の現状を見て必要性を理解した」といった県民の声があった。</li> </ul> </li> <li>○ 森林環境教育や森林体験活動の実施 植樹、炭焼き等の体験活動に対して支援（加賀三谷小学校他15団体）し、小中高校生を含む延べ4,251人の参加を得た。</li> </ul>	<p>様々な形で普及啓発に努めていることは評価できる。</p> <p>いしかわ森林環境税は、森林を県民共通の財産として守り、育て、次の世代に健全な姿で引き継いでいくことを目的としている点に留意しつつ、森づくりに対する理解の増進に尽力されたい。</p>

項目	主な取組と実績	検証と評価
(2) 県民参加の森づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 毎年10月を「いしかわ森づくり推進月間」と定め、県内7地区で一斉に森づくり活動を展開し 397 名もの参加を得た。 本年度も、県内各地区において広く実施。</li> <li>○ NPO 等が自主的に行う身近な森づくり活動へ支援（城山会他13団体）し、延べ 1,410 名の参加を得た中で「県の協力も得られ有益な活動になった」「活動を継続したい」との声があった。</li> <li>○ 市町が集落等と協働する里山林等を保全・活用する「いしかわの身近な森保全事業」に対して支援し、125 名の参加を得た。</li> </ul>	<p>初年度の取組としては一定の成果が得られたと考えるが、いしかわ森林環境税を導入した趣旨の理解・増進を図る観点から県民参加の森づくりの推進に向けて努力されたい。</p>